

世界のデング熱流行状況

2012年1月16日 ProMED 情報

(1) フィリピン(カガヤン・デ・オロ Cagayan de Oro 市、ミサミス・オリエンタル Misamis Oriental 州)

1月14日、予期せぬ天候不良により、デング熱患者数が急激に増加する可能性があるとして市は警戒しています。これまでに3名の子供が罹患したと報告されました。

(2) スリランカ

今年1月12日現在、全国で674名の患者と7名の死亡患者が報告されています。保健省によると、昨年は28,112名の患者と185名の死亡患者が報告されたということです。

(3) マレーシア

1月12日、保健担当者によると、今年第1週の患者数は、昨年の440名と比較して90名増加しており、昨年比26%の増です。最も多い州はスランゴール Selangor 州で61名、以下ジョホール Johor 州11名、Perak ペラ州10名です。死亡患者は、スランゴール州の1名です。

(4) ペルー(パスコ Pasco 地区)

1月11日 オクサパンパ Oxapampa 州パスコ地区では、疑い患者が55名で、確定診断患者が33名発生したことからデング熱に対する警戒が宣言されています。

(5) ブラジル

リオデジャネイロ州リオデジャネイロ市 1月10日、保健当局によると、今年第1週、64名の患者が発生しました。北部地帯の Leopoldina が最も多く20名でしたが、死亡患者は出ていません。

サンパウロ州リベイラン・プレト、パラナ州の7自治体、マト・グロソ・ド・スル州カンポ・グランデ、バイア州イリエウス 1月9～13日、今年第1週の迅速な調査で、これらの地域は、ネットアイシマカ・インデック(蚊の繁殖の程度)が高く、デング熱流行の危険があるとみなされています。

(6) マーシャル諸島

1月13日、デング熱患者数はマジュロ Majuro で減少傾向を示しましたが、Ebeye 島では、昨年12月25日から少しずつ患者数が増加しています。101名の疑い患者が報告され46名は確定診断されました。患者の多数はここ2週間に発生しています。

(7) ミクロネシア連邦

1月11日、ミクロネシア連邦(FSM)の衛生省は、デング熱の流行について最新情報を発表しました。昨年の9月以来の流行で1,078名の患者が記録されました。ヤップ Yap 州が最も多く839名で、Ulithi Atoll 77名、Fais 島158名、Eauripik 島2名、Woleai Atoll 2名でした。170名が入院し、そのうち死亡した2名からデングウイルス2型が検出されました。